



人権侵害・区議会と民主主義を否定した 澤田伸副区長は辞任

澤田伸渋谷区副区長が、区議会の区民環境委員会に対して「バカの集まり」と区議会の存在意義と民主主義を否定し、所属の新人女性区議会議員に対して「ブタ」などと中傷するメッセージを、庁内ネットワークに書き込んでいたことに対して、日本共産党渋谷区議団は、8月8日火曜日午後3時30分から、長谷部区長に対して緊急の要請をおこないました。(要請書全文は、下記参照)

区長はその後、午後4時から記者会見を開き、澤田副区長から辞表が提出されこれを受理したとしたうえで、「区職員の模範となるべき立場での発言として、極めて自覚と配慮に欠ける」と沢田氏を非難。立憲・国民区議団や区民に対し「ご不審とご心配をおかけした」と謝罪しました。

ただし、「辞任」は処分ではなく、退職金1100万円以上が澤田氏に支払われることとなります。また任命責任のある区長の処分もありません。

重大な人権侵害と民主主義否定の暴言をおこなった副区長に対して、何ら処分が行われず退職金が支払われることに区民の理解は得られません。

渋谷区長 長谷部健 殿

澤田伸副区長の区議会議員及び区議会に対する暴言に断固抗議し、謝罪と撤回とともに澤田副区長の罷免を求める要請

澤田伸渋谷区副区長は、渋谷区の職員百数十人が閲覧できる庁内ネットワークTEMS上で、区議会の存在を否定し区議会議員に対するパワーハラスメントなどの書き込みを、繰り返しおこなっていたことが明らかになった。

書き込みは、6月16日の「神南小学校単独建替えの陳情」と7月14日の「神南二丁目・宇田川地区都市計画(素案)について」の区議会区民環境委員会での質疑概要の報告に対して、澤田副区長がおこなったものである。

6月16日の区民環境委員会では、「神南小学校単独建替えの陳情」に対して、理解する立場の質問が多く出されていた。澤田副区長は、区民環境委員会に対して「バカの集まり」との誹謗までおこなったことは、区民を代表して区政をチェックする区議会の存在と、議員を選んだ住民を否定するものであり許されるものではない。

また同委員会所属の新人女性議員に対して「ブタ」などと誹謗・中傷するパワーハラスメントや同議員の個人情報の漏洩(ろうえい)をおこなったことは、区議会議員に対する重大な人権侵害であり、公務員として守るべき守秘義務に違反するものである。さらに、同議員の質問について「早めに封じておかなければ」などと書き込んだことは、議員の質問権を奪おうとするもので看過できない。

行政内部でこうした人権侵害や公務員法違反がおこなわれていたことは重大問題である。こうした民主主義を踏みにじる暴挙は絶対に許されない。

日本共産党渋谷区議団は、澤田伸副区長に対して、発言の撤回と謝罪を求めるとともに、長谷部区長に対して、事態の経過と原因について調査し、再発防止について、区民に明らかにするとともに、澤田副区長の罷免など責任ある対応をとることを強く求める。

2023年8月8日

日本共産党渋谷区議会議員団

区民のみなさんの願い・要望を、区政に届けます

「いっしょくた」区政についてアンケートNo.23「スタート」

日本共産党区議団は、毎年、夏から秋におこなっている区民アンケート・「くらし・区政」についてのアンケート2023のとりくみをはじめました。

アンケートは、区民みなさんの願いに応えるとともに、区政の焦点についてご意見、ご要望をお書きいただくものです。

- ①くらしについて
 - お寄せいただいたご意見、ご要望は議会活動や来年度予算要望に反映させていただきます。
 - ぜひ、ご協力をお願いいたします。アンケートの主な内容は以下の通りです。

- ②物価高への対策について
- ③子育て支援、教育環境の充実について
 - (1) 充実してほしい子育て支援について
 - (2) 廃止された区立渋谷図書館について
 - (3) 区立学校の統廃合と施設一体型小中学校について
- ④まちづくりについて
 - (1) 玉川上水旧水路緑道整備について
 - (2) 神南小学校を含む(仮称)公園通り西地区市街地再開発事業について
- ⑤気候危機対策、環境政策について
- ⑥ジェンダー平等について
- ⑦働き方や雇用について
- ⑧中小業者の営業について
- ⑨国保などの医療保険について
- ⑩介護保険・高齢者福祉について
 - 来年度改定される介護保険料について
 - 高齢者福祉で、充実してほしい施策について
- ⑪羽田空港新飛行ルートについて
- ⑫区政で、力を入れてほしいこと
- ⑬渋谷区政に望む施策や現在お困りのことやご相談、日本共産党区議団への「ご要望」について

※「回答いただいたアンケートは、専用の封筒で切手を貼らずに投函してください」